

この資料は、愛知善意ガイドネットワーク (AGGN) 2014年度 第4回研修会で配布したものを、ほぼそのままホームページ掲載用に編集したものである。ただし、「熱田神宮とその周辺の案内図」を新たに挿入し、また本文中の字句に若干の修正が加えてある。

ゼロからはじめる「熱田神宮とその周辺」

- ☆ 旧東海道の宮宿(みやのしゆく)を經由し、熱田神宮正門(南門)からの参道の両側や本宮裏側の最近整備された「こころの小径」など、巨木が残る熱田の森を歩き、本宮だけでなく別宮を始めさまざまな社や信長塀など名のよく知られた建造物を巡ります。
- ☆ 外国の方をガイドする時の参考になる「熱田神宮とその周辺」についての資料に基づいて、熱田神宮をガイドしたことがある AGGN 会員数名が日本語と英語で説明します。
- ☆ 熱田神宮のガイドをしたことがない人たちや、したいと思っているけれどむずかしいと感じている人たちも含め、今後の熱田神宮のガイドに役立てましょう。

2014年 11月16日 (日) 13:00 ~ 15:30 頃 (少雨決行)

集合	13:00 地下鉄名城線「伝馬町」駅改札口を出た4番出口付近(地下フロア)
行程の概略	13:00 ~ 名城線伝馬町駅 → 旧東海道 → 道標のあるT字路 → 熱田神宮正門(南門) 13:20 ~ 別宮八剣宮 → 上知我麻神社 → 正面参道 → 二十五丁橋 → パネル「神話と歴史でたどる熱田神宮千九百年の歴史」 14:00 ~ 20分間 休憩(パネル前 または きよめ茶屋内) & トイレ(きよめ茶屋西側) 14:20 ~ 手水舎 → 大楠 → 本宮 → こころの小径 → 授与所 → 信長塀 → 文化殿(宝物館)前
解散	15:30 文化殿(宝物館)前 宝物館の入館希望者は各自見学(入館料300円)
最寄り駅	名城線伝馬町駅(徒歩10分)、名城線神宮西駅(徒歩10分)、名鉄神宮前駅(徒歩数分)

A 旧東海道・伝馬町

旧東海道（図1中の破線）の伝馬町^(注)周辺は熱田神宮に詣でる人だけでなく、塩や魚を運ぶ人、東海道を往来する大名や家臣でにぎわっていた。熱田神宮の門前に発達したことからこの宿場町は「宮宿（みやのしゆく）」（熱田宿ともいう）と呼ばれた。本陣は2軒（赤本陣、白本陣）で、一般の旅人の宿である旅籠は248軒であった。

^(注)「伝馬町」は現在の住居表示ではなく、「伝馬一丁目」の一部。

旧東海道	old Tokaido road between Edo(now Tokyo) and Kyoto
本陣	official accommodation for upper-class samurai

B 道標のあるT字路

旧東海道沿い、伝馬町西端のT字路の東南隅にある道標は1790年に建てられたもので、その位置は当時のまま。七里の渡しに向かう東海道と、美濃路（佐屋路）との分岐点であり交通の要衝だったことを示している。道標の北面には「南、京いせ七里の渡し 是より北、あつた御本社式丁」とある。現在も北を見ると式丁（200メートル）先に熱田神宮の南門が見える。T字路の西側にあった上知我麻神社（かみちかまじんじゃ）、別名、源太夫社（げんだゆうしゃ）は、1949年に熱田神宮境内の別宮八剣宮（べつぐうはっけんぐう）の南に移転した。跡地の一部には、ほうろく地蔵という石仏が安置された小堂が建っている。

道標	signpost / guidepost
七里の渡し	Shichiri-no-Watashi port / ferry

C 熱田神宮正門（南門）

境内の南の入口の大鳥居は本宮まで南北に通っている正面参道の入口に立っている正門である。第一鳥居とも呼ばれる。鳥居は無垢の檜で作られ、塗装されてない。この鳥居をくぐれば、神の聖域であるということを示している。正面参道には他に2本の鳥居があり、東西の参道入口にも大鳥居が建っている。

熱田神宮は日本の神社の中でも特別な位置を占めている神社で、年間約70の祭典や神事が昔ながらに執り行われ、年間650万人を超える参拝客が訪れる。境内はとても広くて非常に多くの巨木で囲まれていて、普段は、静寂に満ち市民の心のオアシスとして親しまれている。ご神体は熱田大神の神霊を象徴する三種の神器の一つの草薙剣（くさなぎのつるぎ）^(注)で、本宮に祀られている。境内には本宮のほかにも、別宮が1つと大小さまざまな社があり、多くの神々が祀られている。

^(注) 熱田神宮宮庁では草薙神剣（くさなぎのみつるぎ）と呼んでいる。

鳥居	torii / shrine gate / sacred gate
参道	approach
神の聖域	sacred space
ご神体	object of worship / symbol in which the kami is believed to reside
三種の神器	three sacred treasures that symbolize the Imperial throne
本宮	main shrine

D 別宮八剣宮 (べつぐう はっけんぐう、②^(注))、**上知我麻神社** (かみちかまじんじゃ、③⑦)

^(注) 囲み数字②はリーフレット『熱田神宮 境内案内図』の番号、以下の囲み数字も同様。

別宮八剣宮は本宮に次ぐ社格で、708年、新造した宝剣が納められて創祀されたといわれている。祭神は本宮と同じで、社殿の建築様式も本宮とほぼ同様であり、年間の祭典や神事も本宮に準じて執り行われている。

上知我麻神社の祭神は熱田の地主神として崇められているが、「知恵の神様」としても有名で、多くの人たちが学業の向上や試験合格の祈願のために訪れる。絵馬は願掛けの額で、願望を額に書くと実現すると言われる。大黒様を祀っている**大国主社** (おおくにぬしじゃ、③⑧) と恵比寿様を祀っている**事代主社** (ことしろぬしじゃ、③⑨) とが上知我麻神社の両脇にある。1月5日に行われる「初えびす」では「えびす」の一番札や「福熊手」を我先に受けようと人々が集まる。

知恵の神様	god of wisdom
学業の向上や試験合格	academic progress and passing an exam
絵馬	votive picture tablet
福熊手	bamboo rake decorated with good-luck ornaments

E 楠之御前社 (くすのみまえじゃ、③⑤)

楠之御前社は安産や縁結びの神が祀られている。この神社には社殿がなく、玉垣の中に楠のご神体が祀られている。神は万物に宿ると信じられているため、社殿のない神社もある。東方に**南新宮社** (みなみしんぐうじゃ、③⑥) が見える。南新宮社は境内唯一の朱塗りの社で、疫病除けの神が祀られている。

縁結びの神	god of marriage / matchmaking
疫病除けの神	god of protection from infectious diseases/ epidemics

F 二十五丁橋 (にじゅうごちょうばし、③⑩)

橋の名前は 25枚の板石 でおおわれていることに由来する。名古屋最古の石橋といわれている。以前は旧参道が旧熱田神宮を囲む堀を渡る地点にかけられおり、橋の前で武士が馬から降ろされたので下馬橋とも呼ばれていた。『東に向かっていた西行が二十五丁橋に腰をかけ「かくばかり木かげすゞしき宮立を誰かあつたと名づけそめけん」と一首詠むと、神の声に「やよ法師 東(あづま)の方にゆきながらなど西行と名のりそめけん」があった。』という伝承^(注)がある。

^(注) 伝承には諸説ある。

25枚の板石	25 stone blocks
武士が馬から降ろされる	samurai are forced to get off their horses / samurai are forced to dismount from their horses

G 佐久間灯籠 (さくまどうろう、③⑫)

高さ8メートルの日本有数の大きな石灯籠。佐久間勝之が海上で台風に出会い熱田神宮の加護を祈り、難をのがれた。その感謝の印として、この石灯籠を奉獻した。なお、参道の西側にある石灯籠は後に佐久間灯籠と一対になるように建てられた。

～の加護を祈る	pray for protection of ~
---------	--------------------------

感謝の印として	as a token of his gratitude
奉獻する	dedicate / offer

H パネル「神話と歴史でたどる熱田神宮千九百年の歴史」

※このパネルは2013年に行われた熱田神宮創祀1900年の記念事業として第二鳥居の北に設置された。常設ではないので案内図類には図示されていない。熱田神宮宮庁の話によるとしばらくの間、展示は続くとのこと。

2013年が創祀（そうし）1900年にあたるとして記念事業が実施された。ご神体は三種の神器の一つである草薙剣で、主神の熱田大神（あつたのおおかみ）の御霊（みたま）を象徴する。相殿（あいどの）の神として、この剣とゆかりのある五柱の神が祀られている。社殿の造営や修復は室町・江戸の幕府をはじめ、信長、秀吉、尾張徳川家などによって行われた。1893年、現在の位置に遷座し、建築様式も尾張造^(注)から伊勢神宮と同じ高床式倉庫を模した神明造に改造された。第二次世界大戦でほとんどの建物を焼失したが、その多くは再建、修復され、現在に至っている。大きな二門は再建されていない。

創祀神話：素盞鳴尊（すさのおのみこと）が退治した八岐大蛇（やまたのおろち）の尾から出現した剣は、後に伊勢神宮斎王の倭姫命（やまとひめのみこと）から東国平定の途上の日本武尊（やまとたけるのみこと）に手渡された。日本武尊が草原で賊に火を放たれ襲われた折、この剣で草をなぎ払い窮地を脱したので草薙剣と呼ばれる。妃である宮簀媛命（みやすひめのみこと）に預けたまま伊吹山に出向き、亡くなる。日本武尊の死後、宮簀媛命がこの剣を熱田の地に祀った。これが今日の熱田神宮である。

蓬莱（ほうらい）伝説：中国では東方の海に不老不死の仙人の住む蓬莱山（蓬莱島）があるといわれており、熱田神宮とその周辺が蓬莱山にあたるとの言い伝えがある。「蓬莱軒」や「蓬左文庫」はこの伝説に由来する。

楊貴妃（ようきひ）伝説：熱田大神が楊貴妃に姿を変えて日本侵攻を企てる中国（唐）の玄宗皇帝の野望を止め、その後、日本に戻り熱田で生涯を終えたという伝説。死んだはずの楊貴妃が熱田で生きていたという話で、蓬莱伝説に関連してできたそうである。

^(注) 尾張造…本殿は二棟（東に土用殿、西に正殿）が相並び、回廊が本殿を廻る尾張地方にのみ見られる社構。朱塗りの柱に檜皮葺の社殿。

主神の熱田大神の御霊を象徴する	represent the main god Atsuta-no-Okami
相殿の神	gods enshrined together
剣とゆかりのある	be connected with the sword
高床式倉庫	ancient raised-floor granary / warehouse
剣で草をなぎ払う	mow down the grass with the sword

I 手水舎（てみずや、ちょうずや、てみずしゃ、㊸）

- 1) ひしゃくを右手に持ち、左手を洗う。
- 2) ひしゃくを左手に持ち、右手を洗う。
- 3) 再び、ひしゃくを右手に持ち、左手に水を受け、口をすすぐ。
- 4) 左手を洗い流す。
- 5) ひしゃくをたてて、柄を洗い、ひしゃくの表面を下にして置く。

ひしゃく	dipper / ladle
口をすすぐ	rinse your mouth
表面を下にして置く	lay it face down

J 大楠 (おおくす、㉑)

樹齢およそ 1000 年で、境内にある最も大きな楠の一つ。しめ縄が張りめぐらされ御神木として祀られている。この木の中に空洞があり、大きな蛇が数匹住んでいて、信奉者が夏になると毎日卵を与えている。弘法大師 (774~835) のお手植えといわれている。

大楠	giant camphor tree
しめ縄	sacred straw rope
空洞	hollow

K 本宮 (ほんぐう、㉒)

手前にある建物が拝殿で、その前でお参りをする。一番奥にある最も高い建物が本殿で、草薙剣が祀られているが、見ることはできない。旧本殿は現在の本殿より少し東側にあったが、1893 年、現在の位置に、草薙剣を祀るにふさわしい社として伊勢神宮と同じ神明造で建てられた。1945 年、焼失したが、1955 年再建され、2009 年に修復された。屋根の頂上に勝男木 (かつおぎ) がそえられ、屋根の両端には千木 (ちぎ) が付けられている。

拝礼の仕方：1) 小銭をさい銭箱に入れる。 2) 二礼、二拍手をする。 3) 心の中でお参りをする。
4) 一礼する。

拝殿	hall of worship
本殿	main hall, main sanctuary
勝男木	ornamental short logs
千木	ornamental crossbeams
小銭をさい銭箱に入れる	put a few coins in the offering box
二礼、二拍手をする	bow twice and clap twice
心の中でお参りをする	pray your wishes in your mind

L 祈禱殿 (きとうでん、㉓)

主に自動車の交通安全祈禱を行う建物。結婚式が行われることもある。

祈禱殿	praying hall
交通安全祈禱	prayer for traffic safety

M こころの小径 (こみち、図 1 の本宮の周りの破線)

2012 年 12 月、それまで立ち入ることができなかつた一角が整備され、「こころの小径」と名付けられた。小径を巡ることにより、本宮を西側や北側から拝することができる。

一之御前神社 (いちのみさきじんじゃ、㉔)：熱田大神の活動的勇猛的な荒魂 (あらみたま) をお祀りしている。

清水社（しみずしゃ、④）：ご祭神は水をつかさどる神。楊貴妃伝説にまつわる美のパワースポット。湧き水の中の石は楊貴妃の墓石（五輪塔）の一部と言われている。その石に水をかけて祈るとお肌がきれいになり美人になると言われ、最近、全国の若い女性たちにパワースポットとして人気があるそうだ。また、湧き水で目を洗うと目がよくなるとも言われている。

土用殿（どようでん、⑤）：二棟が東西に相並ぶ旧本殿の東側の建物で、1893年に本殿が現在の位置に移るまで草薙剣が祀られていた。戦災により焼失し、再建された。

荒魂（あらみたま） ⇔ 和魂（にぎみたま）	progressive and brave spirit ⇔ harmonious and cooperative spirit
水をつかさどる神	god of water / water god
水をかける	splash water

N 神楽殿（かぐらでん、⑧）

初宮参り・安産・厄除け・家内安全などのご祈禱が行われる。神聖な音楽や舞が巫女（みこ）など神職の女性や男性によって演じられる。2009年、再建。

神楽殿	ceremonial dance hall
神聖な音楽と舞	sacred music and dance
巫女	shrine maiden

○（神符）授与所（じゅよしよ、⑨）

家内安全・業務繁栄の神札や、身体健全・交通安全・安産・合格祈願などのお守りを授与致している。おみくじで自分の運勢を占うことも出来る。大吉から大凶まで各種あって、運勢を占ってくれる。おみくじを引いたら、それを木に結び付ける。よいおみくじはそのまま持ってもよい。

授与所	amulet office
神札	talisman / good-luck slip of paper
お守り	good-luck charm / charm / amulet
おみくじ	written oracle / fortune slip / paper fortune
大吉／大凶	very good luck / extremely bad luck
それを木に結びつける	tie it to a tree

P 信長塀（のぶながべい、⑭）

織田信長が、桶狭間合戦(1560年)において勝利を得たことによる感謝の気持ちとして、奉納した瓦築地（かわらついでじ）の土塀。土と石灰と油で練り、瓦を積み重ねて固められた。旧本宮境内の南と西を囲っていた（図1中の二重線は現存する信長塀）。

感謝の気持ちとして	as a token of gratitude
土と石灰と油で練る	knead by mud, lime and grease
瓦を積み重ねる	pile up roof tiles

Q 六末社 (ろくまっしゃ、⑰)

六つの小さな社が一行に並んで鎮座している。

R 文化殿 (宝物館) (ぶんかでん (ほうもつかん)、⑳)

皇室を始め、室町、江戸両幕府の将軍、戦国武将、尾張藩主や一般の篤志家からの献納品など約 6000 点以上を収蔵している。収蔵品は、古文書、古鏡、舞楽面など多彩であり、ことに草薙剣を祀る神宮であることから、刀剣類が多く、名刀の宝庫として著名である。重要文化財に日本書紀の写しがある。

古文書	ancient documents
舞楽面	masks of ancient court dance
重要文化財	important cultural property
日本書紀	Nihon-shoki / the oldest chronicles of Japan

参考文献

AGGN の HP 掲載の「熱田神宮 ガイド研修の資料 (2007 年)」

NHK 講座の資料「Guide to Atsuta Jingu (2007 年)」

リーフレット『熱田神宮 境内案内図』(熱田神宮宮庁)

『熱田神宮 宮記 (きゅうき)』(熱田神宮宮庁)

『ATSUTA JINGŪ (英文)』(熱田神宮宮庁)

『熱田ぐるりんマップ』(熱田区まちづくり協議会など)

『熱田区の歴史』(愛知県郷土資料刊行会)

『新修名古屋市史』(名古屋市)

『図解ふしぎで意外な神道』(学研パブリッシング)

『Handy Bilingual Reference for Kami and Jinja』(神社文化研究会)